

※店舗ごとに作成し、当該店舗の給付額を福岡県感染拡大防止協力金申請書(様式第1号)に転記してください。

【第9期】協力金支給申請額計算書(別紙2)

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。

※1日あたりの売上高は、消費税・地方消費税を除いた額となります。提出書類上の売上高が消費税・地方消費税込みで記載されている場合は、消費税・地方消費税を除いた金額がわかる書類を、別途作成して提出してください。

【売上高減少額方式】※日数の算定にあたっては、休業日(定休日や不定休による店休日)を含みます。

前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高と令和3年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。  
 計算方法は下記A・B・Cいずれかを選択可能です。  
 ※月々の売上高が不明な場合は裏面の売上高減少額方式(年間売上高による申請)が利用可能です。

A 月単位方式	前年又は前々年	前年又は前々年6月の飲食業売上高 円	+	前年又は前々年7月の飲食業売上高 円	=	前年又は前々年6~7月の飲食業売上高計 円	÷ 61日 =	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円 (1円未満切り上げ)	
	令和3年	令和3年6月の飲食業売上高 円	+	令和3年7月の飲食業売上高 円	=	令和3年6~7月の飲食業売上高計 円	÷ 61日 =	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円 (1円未満切り上げ)	
B 時短要請期間方式	前年又は前々年	前年又は前々年の時短協力期間と 同期間の飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円 (1円未満切り上げ)			
	令和3年	令和3年の時短協力期間の 飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円 (1円未満切り上げ)			
		↑ 同じ日数を記入 ↓ 〈新型コロナ特例での記入方法〉(開店日:令和 年 月 日)※開店日を記入ください 開店日が令和元年6月21日より後の場合は、開店日から令和2年3月31日までの飲食業売上高も選択可能です。 (上記の前年又は前々年の飲食業売上高の欄に記入) 開店日から令和2年3月31日までの日数を時短協力日数(上の欄)に記入 ※特例利用 開店日:令和元年7月1日の場合、日数は275日として入力 令和3年に関しては時短協力期間の飲食業売上高・時短協力日数(下の欄)をそれぞれ記入してください。							
C 新規開店特例方式	(※時短要請月を基準に、開店1年未満の場合に使用してください。)								
	(開店日から時短協力開始日の前日までの飲食業売上高)÷(開店日から時短協力開始日の前日までの日数)=1日当たりの飲食業売上高								
		開店日から時短協力開始日の前日までの飲食業売上高 円	÷	開店日から時短協力開始日の前日までの日数 日	=	1日当たりの飲食業売上高 ① 円 (1円未満切り上げ)			
		※ 開店日が令和3年1月16日より前の場合は、開店日から令和3年1月15日までの飲食業売上高も選択可能です。							
令和3年		令和3年の時短協力期間の 飲食業売上高 円	÷	時短協力日数 日	=	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円 (1円未満切り上げ)			

上記で計算した①②の数字を転記してください。

(	前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高 ① 円	-	令和3年の1日当たり飲食業売上高 ② 円	) × 0.4 =	1日当たりの給付単価 円
	千円未満切り上げ				
	1日当たりの給付単価※ 000円	×	時短協力日数 日	=	当該店舗の給付額 000円

※上限:20万円又は1日当たりの売上高の3割のいずれか低い額

支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。  上記内容で申請します

※1日あたりの売上高は、消費税・地方消費税を除いた額となります。提出書類上の売上高が消費税・地方消費税込みで記載されている場合は、消費税・地方消費税を除いた金額がわかる書類を、別途作成して提出してください。

**【売上高減少額方式（年間売上高による申請）】 ※前年又は前々年の月別の売上が不明な場合に申請可能**

前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。

$$\boxed{\begin{array}{c} \text{前年または前々年の年間の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \begin{array}{c} \text{365日} \\ \text{366日} \end{array} \text{（いずれかに○をつけてください（※））} = \boxed{\begin{array}{c} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{① 円} \end{array}} \text{（1円未満切り上げ）}$$

※ 令和2年2月29日の売上高が含まれる場合は366日、含まれない場合は365日を選択して計算してください。

令和3年の1日当たり飲食業売上高を計算してください。計算方法は下記A・Bいずれかを選択可能です。

A 月単位方式	$\boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年6月の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年7月の飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年6～7月の飲食業売上高計} \\ \text{円} \end{array}} \div 61\text{日} = \boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array}} \text{（1円未満切り上げ）}$
B 時短要請期間方式	$\boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年の時短協力期間の} \\ \text{飲食業売上高} \\ \text{円} \end{array}} \div \boxed{\begin{array}{c} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array}} \text{（1円未満切り上げ）}$

上記で計算した①②の数字を転記してください。

$$\left( \boxed{\begin{array}{c} \text{前年又は前々年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{① 円} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{c} \text{令和3年の1日当たり飲食業売上高} \\ \text{② 円} \end{array}} \right) \times 0.4 = \boxed{\begin{array}{c} \text{1日当たりの給付単価} \\ \text{円} \end{array}}$$

千円未満切り上げ

$$\boxed{\begin{array}{c} \text{1日当たりの給付単価※} \\ \text{000円} \end{array}} \times \boxed{\begin{array}{c} \text{時短協力日数} \\ \text{日} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{c} \text{当該店舗の給付額} \\ \text{000円} \end{array}}$$

※上限:20万円又は1日当たりの売上高の3割のいずれか低い額

支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。  上記内容で申請します